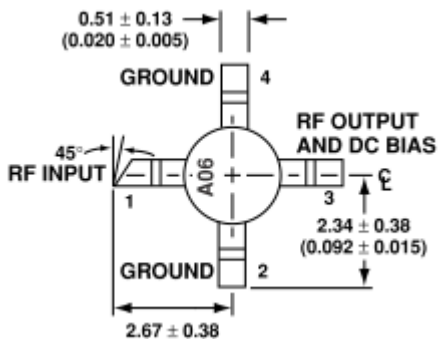
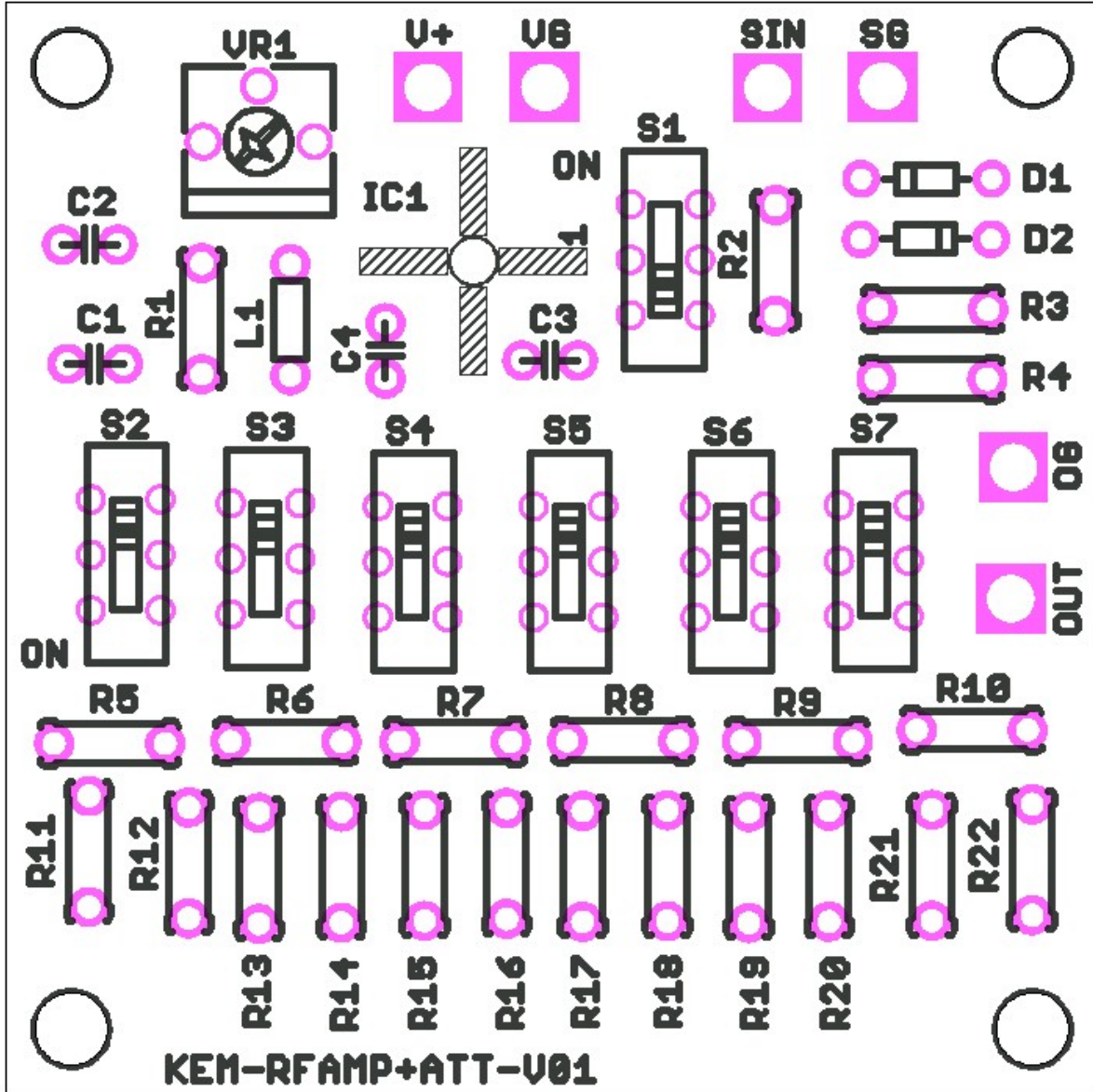


KEM-RFAMP+ATT

貴田電子設計 (www.kida-elec.com)

1. 組立て

必ず、体の静電気を逃がしてから、作業を行ってください。作業中も、静電気に注意して、逃がしながら作業を行ってください。部品の取り付け方向には、十分注意してください。



IC1 は、左図のように先のとがった部分が1番ピンです。

基板上では、上図のように1番ピンに、1とマークが表示されています。

上図では、右側が1番ピンになっています。



L1は、横にすると入らないため、左図のように、左側に本体が来るように立てて挿入してください。(極性はありません)

2. 電源端子

電源には、良質なものを使ってください。性能に影響します。

V+	DC 9V~12V
VG	電源用のグラウンド

3. 入力端子

SIN	入力端子
SG	グラウンド

4. 出力端子

OUT	出力端子
OG	グラウンド

5. 入力 3dB パッド

入力回路に入っている、3dB パッドは、スライドスイッチ(S1)により ON/OFF できます。
ON 側は、基板に印刷されています。

6. ATT

SW2~SW7によって、ATTの減衰量が調整できます。

ON 側は、基板に印刷されています。

ATTの格段は直列につながっているため、全てを ON にすれば、40dBの減衰になります。

SW NO	減衰量 (dB)
2	1
3	2
4	3
5	4
6	10
7	20

7. ゲインの微調整

トリマ抵抗(VR1)を回すことで、ゲインを微調整できます。
右に回すと、ゲインが上昇します。

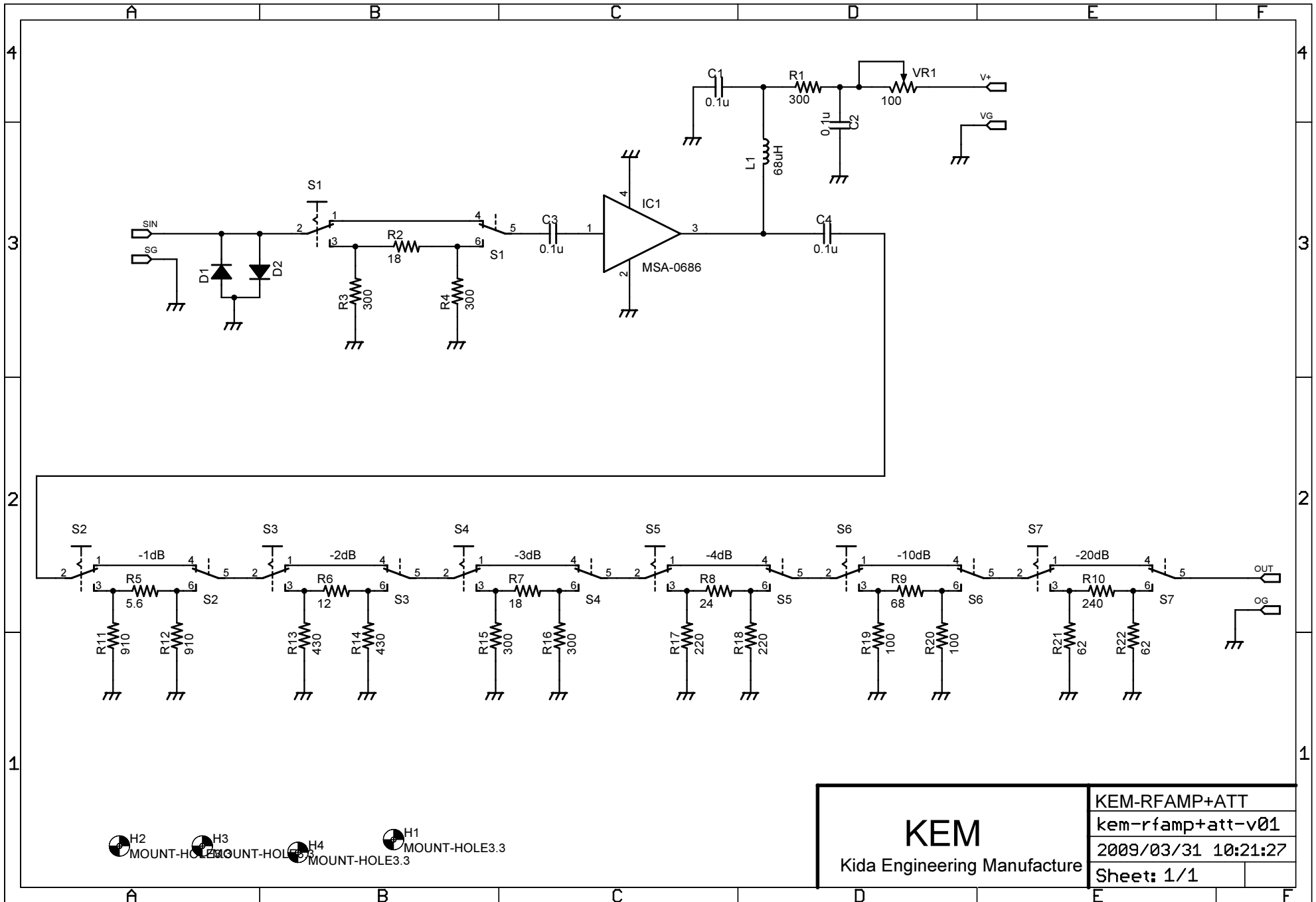
8. 仕様

ゲイン	約 10～15dB (電源 12V 時)
周波数	0.5～300MHz
アッテネータ(ATT)	0～40dB
入力インピーダンス	50Ω
出力インピーダンス	50Ω
電源	DC 9V～12V
基板サイズ	50mm × 50mm

9. 転載禁止

本書の内容を転載しないでください。

KRM-RFAMP+ATT 部品表					
1	部品種類	部品名	部品番号	個数	備考
2	MMIC	SGA-6386	IC1	1	
3	ダイオード	1S1588相当品	D1 D2	2	
4	抵抗(Ω)	5.6	R5	1	
5		12	R6	1	
6		18	R2 R7	2	
7		24	R8	1	
8		62	R21 R22	2	
9		68	R9	1	
10		100	R19 R20	2	
11		220	R17 R18	2	
12		240	R10	1	
13		300	R1 R3 R4 R15 R16	5	
14		430	R13 R14	2	
15		910	R11 R12	2	
16	コンデンサ	0.1uF	C1 C2 C3 C4	4	
17	マイクロインダクタ	1uH	L1	1	
18	トリマ抵抗	100Ω	VR1	1	
19	スライドスイッチ	IS-2235	S1~S7	7	
20	基板			1	



H2 MOUNT-HOLE3.3
 H3 MOUNT-HOLE3.3
 H4 MOUNT-HOLE3.3
 H1 MOUNT-HOLE3.3

<h1 style="margin: 0;">KEM</h1> <p style="margin: 0;">Kida Engineering Manufacture</p>	KEM-RFAMP+ATT
	kem-rfamp+att-v01
	2009/03/31 10:21:27
	Sheet: 1/1